

令和4年度(2022年度)
「学校評価に係るアンケート調査」の結果(職員アンケート)

	内 容	4:十分で きている	3:おおむ ねできて いる	2:やや 不十分で ある	1:不十 分である	0:わから ない	計
1	日々の学校生活における事故を未然に防止するために、ヒヤリハット事例等を生かすことができた。	19	49	5	0	1	74
2	緊急対応等のマニュアルを理解し、不測の事態に備えることができた。	10	58	6	0	0	74
3	メールやUSB等の情報管理を適切に行うことができた。	53	21	0	0	0	74
4	PDCAサイクルを踏まえながら、一人一人の児童生徒が持てる力を十分に発揮し、その力を更に伸ばす授業を行うことができた。	2	59	5	0	5	71
5	指導に必要な専門的知識や技術を持ち、適切な指導ができるよう努力した。	3	60	8	0	2	73
6	児童生徒の自立や社会参加に向けた取組を、保護者や関係機関と連携して進めることができた。	10	52	6	0	4	72
7	児童生徒の指導目標や指導計画について、保護者に十分に説明をすることができた。	12	48	6	0	4	70
8	気候や児童生徒の体調に配慮した教育活動ができた。	27	41	0	0	3	71
9	児童生徒の気持ちを汲み取りながら接するとともに、自己選択・自己決定の場をできる限り設けることができた。	8	55	6	0	3	72
10	周囲の人や友達のよさを感じ取り、自分のよさに気付く活動内容や場を設定することができた。	12	51	5	0	4	72
11	児童生徒が安心して充実した学校生活を送るために、いじめや体罰のない環境をつくることができた。	44	26	1	0	3	74
12	働き方改革の目的を理解し、時間外勤務縮減を意識して行動することができた。	25	44	5	0	0	74
13	学校は、地域住民等に対して広く情報提供をする取組ができた。	6	50	10	0	8	74
14	児童生徒が安全・安心に学校生活を送ることができるよう、環境整備に気を配ることができた。	18	55	0	0	0	73
15	経費節減を心掛け、教育上必要な費用について、適切に運用することができた。	18	53	2	0	1	74
16	学部等及び分掌部で、重点目標達成のために役割を果たすことができた。	9	64	1	0	0	74
17	外部からの教育相談や外部の方を交えたケース会議等において、情報提供や助言等を丁寧にすることができた。	15	45	4	0	10	74